令和2年度 社会福祉法人博友会 事業報告

とらのこ保育園 事業報告

1. 利用状況 入所児童数:定員90名

月	乳児		1・2歳児		3歳児		4歳児以上		合計
	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	標準	短時間	
4	5	2	25	4	19	1	33	8	97
5	6	2	25	4	19	1	34	7	98
6	7	2	27	4	19	1	34	7	101
7	7	2	26	5	19	1	34	7	101
8	7	2	26	5	19	1	33	8	101
9	7	2	27	4	19	1	33	7	100
10	7	2	27	4	19	1	34	6	100
11	7	2	28	3	19	1	34	6	100
12	8	2	28	3	20	0	34	6	101
1	9	1	27	3	20	0	33	6	99
2	9	1	27	3	20	0	33	6	99
3	9	1	27	3	20	0	33	6	99
合計	88	21	320	45	232	8	402	80	1, 196

事 業 名	延べ利用人数
一時預かり保育	131 人
延長保育	244 人
休 日 保 育	181 人
病後児保育	15 人

2. 主な年間行事

月	内容
4	1日 入園式 10日 幼年消防任命式(年長児) 22日避難訓練
5	14日 さつまいも苗差し
6	3日 内科検診 26日 年長児花火教室
7	1日 プール開き 13日 じゃが芋掘り 7日 七夕の集い
,	10日 とらのこまつり (園児のみ) 21日 小野園お茶教室 (年長児)
8	31日 プール閉め
9	1日 総合防災訓練(引き渡し訓練) 27日 運動会
10	29日 秋の遠足 15日さつま芋ほり
11	13日 七五三を祝う 21・28日 年長児保護者奉仕作業
12	12 日 3~5 歳児生活発表会 17 日もちつき 24 日クリスマス会
1	23日 ひよこ・うさぎ発表会参観 25日 年長児水泳参観・懇談会
0	2日節分の会 12日 幼年消防修了式・引継ぎ(年長児・年中児)
2	25日 交通安全教室 年長・年中児絵本のバス見学
3	5 日お別れ遠足(年長児) 11 日お別れ会 27 日 卒園式

3. 会議開催の状況

●リーダー会議

開催時期:毎月1回 出席者:主任、副主任、専門リーダー

開催日	主な議題
4月13日	・保育の問題点 ・研修予定(新任)・備品について
5月13日	・保育の問題点・早番/遅番の玩具、遊び・とらのこ祭りについて
6月10日	・保育の問題点 ・とらのこ祭りの進行状況 ・七夕祭りについて
7月15日	・保育の問題点 ・運動会について ・保育言葉かけについて
8月18日	・保育の問題点 ・運動会準備について ・引き渡し訓練について
9月16日	・保育の問題点 ・園内研修について ・県指導監査報告
10月 4日	・保育の問題点 ・感染症について ・環境研修について ・研修報告
11月 11 日	・保育の問題点 ・未満児、以上児会議 ・参観日について
12月16日	・保育の問題点 ・環境研修について ・入園説明会について ・行事確認
1月13日	・保育の問題点 ・環境研修について ・今後の行事について
2月10日	・保育の問題点 ・環境研修について ・誕生表について

●全体会議

開催時期:毎月第4水曜日 出席者:全職員

開催日	主な議題
4月 1日	・行事予定の内容、連絡・各委員会の事業計画・保育指導計画
4月22日	・行事予定の内容、連絡・勤務表について
5月20日	・保育参観、プール開き、とらのこまつりについて
6月17日	・5月の行事反省・七夕まつり、運動会について・各委員会より
7月22日	・6月の行事反省・防災訓練、運動会について・各委員会より
9月 1日	・7~8月の行事反省・防災訓練の反省・運動会について
9月23日	・9月の行事反省・秋の遠足・・各委員会より
10月21日	・10月の行事反省・発表会、芋ほり、七五三について・各委員会より
11月18日	・11月の行事反省・クリスマス発表会について・各委員会より
12月23日	・12月の行事反省・保育参観について・各委員会より
1月21日	・1月の行事反省・節分の会、卒園式、お別れ会について・委員会より
2月17日	・2月の行事反省・ひな祭り、お別れ遠足、卒園式、入園式について・各委員会より
3月27日	・3月の行事反省・卒園式、入園式について・次年度の行事等確認

4. 外部研修参加の状況

外部研修内容については全体会議等にて報告を行った。

月日	内 容	職種	人数
6月 1日	新型コロナウイルス感染症・情報提供について	保育士·看護師	2
7月27日	静岡県保育士会「求められる子どもの育ちと保育者の役割」	保育士	1
7月28~30日	静岡県保育連合会キャリアアップ研「保健衛生」	保育士	1
8月3~5日	静岡県保育連合会	保育士	1
8月27日	中堅保育者研修会	保育士	1

月日	内 容	職種	人数
9月30日	静岡県保育士会「リーダーセミナー(危機管理)」	主任副主任保育士	2
10月7日	御殿場市給食協会	調理士	1
10月19日	静岡県人権啓発センター「虐待治療について」	保育士	1
10月21・22日	静岡県保育連合会キャリアアップ研「乳児保育」	主任保育士	1
11月 5・6日	静岡県保育士会主任・主幹保育士研修・リモート	保育士	2
11月12日	御殿場市保育幼稚園課「感染症予防」	保育士	1
11月25日	静岡県保育士会「気になる子どもたちの理解と対応」	保育士	2
11月 27 日	御殿場市教育委員会「特別支援教育研修」	保育士	1
12月7日	静岡県保育所連合会・オンライン研修	保育士	2
12月16~18日	静岡県保育士会キャリアアップ研「マネジメント」	保育士	2
1月 28 日	歯科衛生 オンライン研修	看護師	1
2月 4日	静岡県保育士会「食育」オンライン研修	保育士	2

5. 委員会事業報告

毎月1回委員会を開催し、園運営の環境整備、衛生面の職員周知徹底を基本に、職員会議にて報告して委員会の充実を図る。

委員長が必要性を認める場合は園長が委員会に参画し、運営の充実を図る。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
教育	・常に新しい知識・技能を吸収し、専門性の高い保育を目指すため、勉強会や研修を企画し実施する。 ・園内研修の充実を図り職員の活動意欲を高める。日程を分けて職員全員の参加を基本とする。研修会等を通じで職員間の連携と情報共有を図る。	・年間を通じた園内研修 第1回グループディスカッション 「指導計画について」 第2回グループディスカッショ ・原里地区一貫研研修の参加 ・県内外の外部研修参加 ・衛生委員会との共同で、看護師 による感染症の知識を学ぶ。 「AED講習会」	・職員全体で一つのテーマに取り組み考える事により、保育に対し共通理解を深め、知識や技能の向上に繋がった。 ・配慮の必要な子に対する専門的知識を得ることができた。 ・外部講師(感性感覚指導)を招く事で、1~2 歳児の育ちの客観視ができ、学びとなる。
環 境	・人と物との環境が相互 に関連し合い、子どもの 生活が豊かになるよう計 画的に構成する。 ・保育環境の整備、向上 とともに、施設内外の設 備遊具等の管理をする. ・修繕の個所を見つけ依 頼する。	・用品、備品、教材等の管理、教材室の整理、整頓。 ・園庭遊具の安全確認。 ・定例委員会後に教材庫の見回りをする。 ・ヒヤリハットの管理 ・各クラスの不備を受け止め、園長に報告する。	 ・月に2回の物品発注が習慣化する。 ・環境チェックシートをうまく活用できた。 ・ヒヤリハットは、呼びかける事で意識が高まり、習慣化になりつつある。

委員会名	活動目的	活動内容	反省及び課題
	・病気の対応、環境衛生	・救急箱および各クラスの救急箱	・健康管理について保護者
	の管理を定め、園児の	の管理(補充)	や園児へも促すことができ
	健康保持・増進を図る。	・消毒液の回収・補充	た。
	・アレルギー児の確認、	・感染罹患シート回収・集計	・アレルギー児の確認の為、
	周知を図る。又、変更は	・掲示板に設置して、定期的に感	各クラスで誤飲の無い様全
	随時知らせる。	染症や衛生管理の手洗いの仕	体の表を作成し配布、顔写
保健衛生	・看護師による指導を受	方等を掲示する。	真を付けて周知を図る。
	ける。	•感染予防講習会参加	・除去食の置き場所を作り、
	・感染症予防対策とし	•園児への保健指導	栄養士との声掛けで再確認
	て、手指消毒器・検温器	・アレルギー児の表を作成配布。	をする。
	大型空気清浄機設置。	・アスファ水を使い効果を上げる	・感染症が流行らずに過ご
			せる。
	・園内の壁面装飾	・写真の整理、注文	・カメラ等の使用方法につい
	・写真、ホームページの	・カメラ関係備品の管理	てルールを定め、利用しや
	管理。	・HPの更新	すくした。
広報・写真	・園児の生活風景を写	・園内の壁面装飾	・各委員が協力し、円滑に
	真として記録し、保護者	・行事におけるスライド等製作	進められた。
	も子どもの成長を感じら		・各クラスで写真販売に手
	れるようにする。		掛ける。
	・食育に関する年間計画	・食育実践の計画を立て、準備	・食育便りでは、保護者へ
	を定め実施のサポートを	に携わる。(苗付、草取り等)	関心を高められた。
	する。	・食育ひろば(掲示板)作成	・食育ひろばをうまく利用し
	・食物を育てる楽しさ、調	・食育だよりの発行。	ている。
	理や食事の楽しさをしら		・園児に向けた様々な食育
食 育	せる。	・食育のアンケートを配布、結果	を発信していく。
	・身近な食材に興味関	を報告する。	・園庭に小さな畑を設けて
	心を持たせ、食物を大		植物への関心を身近なもの
	切にする心を育てる。		にしていく。
	・年長児は、給食の献立	・年長児の卒園行事として、ジャ	・卒園後のカレーの材料とし
	で栄養素を学ぶ。	ガイモの種を植える。	て来園の期待を持たせる。